

令和元年度学校評議員活用状況報告書

第1回学校評議員会 【令和元年6月24日（月）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- | |
|--|
| (1) 意見聴取方法
①授業見学 ②学校評議員会の開催 |
| (2) 参加者
①学校評議員 6名（1名欠席）
②本校教職員 11名（校長、教頭、事務長、教務主任、進路指導主事、生徒指導主事、農場主任、自治活動主任、同窓会係、PTA係、教務係） |
| (3) 協議事項
①学校より（現況、教育目標・学校評価等、進路状況、生徒状況、グローバル・アグリハイスクール宣言等）
②意見交換 |

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- | |
|--|
| ○評議員会の開催に先立って、授業公開を実施し、生徒の学校生活・学習活動の状況をご覧いただいた。（今年度から委員に委嘱した2名と継続でお願いした1名が参観）
○多角的・多面的な視点からご意見等をいただくために、できるだけ学校の状況を端的に説明し、多くの意見をいただくよう努力した。 |
|--|

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- | |
|---|
| ○進学した生徒がどれだけ地域に戻り就職しているのか追跡調査がなされているか？
できる限り、進学後地域に戻り支えられるよう指導をお願いしたい。
・追跡調査はしていないが、地元に戻っている様子をお聞きすることが多い。今後は、さらに意識しながら指導していきたい。
○進学先で、本校における他学科の様子は分からないと答える生徒が多い。教科横断的な指導が必要ではないか？
・新学習指導要領でも、教科横断的な指導が問われていることもあるため今後検討していきたい。
○探究型の学習が問われている中、専門高校としてよく頑張っている姿が見える。因みに、課題を解決する上で研究の積み重ねはなされているか？
・先輩から引き継ぎ、継続研究で課題を解決している。今後もこのような方法で課題を解決する手法を学ばせ探究力を身に付けさせていきたい。
○授業参観した中で、女子生徒の活躍が目立ち中心的な役割を果たしているように見える。男子生徒は大丈夫か？ 男女が共に活躍できる学校にしてほしい。
・男子は大人しい傾向が見られるが、一生懸命頑張っている生徒も多い。女子生徒に負けぬよう努力させていきたい。
（高校側より）
○企業の採用側の立場から、高校生に求める能力は何か？
・企業の採用側の立場としては、専門知識や技術ではなく、コミュニケーション能力が重要だと考えている。高校時代に社会人として必要な、このような力を身に付けさせて欲しい。 |
|---|

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- | |
|--|
| ○少子化が進む中、本校の使命として、地域を支えていく若者を育成することがとても重要であることを改めて実感することができた。今後の学校運営に生かしていきたい。
○新教育課程や3つの方針を考えるうえで、教科横断的な視点や探究力の育成が重要である点を改めて認識することができた。
○時間の関係もあり難しいが、各テーマについて議論をさらに深めることができると良いと考える。 |
|--|